

自治センターだより

やまはし

12月号

編集と発行 山橋自治センター
発行責任者 十文字 秀 男
発行日 平成27年12月1日

電話 0247-26-1065
FAX 0247-26-3109



石ころ多世界キャラクターさみっと in羽生へ出張

山橋まちづくり委員会（添田勝美委員長）は21日会員・事務局合わせて13人で「世界キャラクターさみっとin羽生」に参加してきた。今年は1昨年のギネス記録に挑戦以来、昨年に続き3度目の出張になる。

今年度は365体のキャラクターの参加となった。石ころ多グッズや農産物などを販売してきました。当日は、日本大学の先生や学生2人も応援に駆けつけてくれました。石ころ多もだんだんファンが増えてきました。地元の皆さんもぜひ応援して下さい。



山橋まちづくり委員会のブース



山橋をピーアールする石ころ多

食改善の伝達 料理講習会

21日石川町食生活改善推進員による伝達料理講習会が、自治センターの調理室で開催された。参加者は20名。今回のテーマは「生活習慣病予防～バラン

スのよい食事をしよう」で、ご飯、たら野菜あんかけ、生揚げと大根の炒め煮、わかめのみそ汁、白菜。



楽しみながら講習会



パネルを使つての講義

ふれあい広場で食べ物のお話

ふれあい広場第3班（渡邊実班長）は18日利用者、ボランティア等合計37名で11月の行事を開催した。今回は介護予防教室の食育講座で管理栄養士の井上真由美さんを講師に迎え食事の大切さについて学んだ。PPK（ピンピンしていてコロっという）といった元気で長生きするためのお話は、皆さん面白がって聴いていた。肉や魚、大豆などの蛋白質の話や油質の大切さ身体にはどんな食べ物がいかが等易しく説明してくれたので大変参考になった。来月まで風邪をひかないでの再会を話し合つて閉会した。

12月の主な行事

日	曜	行事予定	備考	日	曜	行事予定	備考
7	月	長寿会スカットボール大会	自治センター	16	水	ふれあい広場	自治センター
11	金	ふれあい事前会議	自治センター	19	土	自治センターガラス清掃	
12	土	企画推進員研修旅行	宮城県	24	木	町社協・民生児童委員	自治センター
15	火	健寿大学	自治センター	26	土	自治センター仕事納め	

青少協役員会開催

11月25日青少協の役員会が開催された。今年度は青少年健全育成標語を募集し看板を作成・設置の年度となっている。標語は、山橋地区に在住する児童・生徒から小学校・中学校を通じて募集する。審査の結果入選された標語は看板に記入され、各地区ごとに設置される。看板の設置は予算の関係で3年に1度しか更新されない。応募用紙は学校から配布される。締め切りは12月15日ですので、児童・生徒の皆さんは是非挑戦して応募ください。

なお会議では、来年正月の書初め大会についても話し合わせ、日程の関係で12月27日に決定した。学校提出用と2枚清書する。詳細は追ってお知らせします。



青少協の役員会

健寿大学で勉強会

健寿大学（矢内鷹嗣委員長）は、19日22名参加で、11月の行事を行った。今回は「小学生に戻って数遊び」で足し算、引き算、掛け算、割り算などの問題を行った。またナンバー・プレズのパズルに挑戦し四苦八苦していた。国語の問題にも取り組んだが普段字もあんまり書かないので、思い出すのに苦労していた。



真剣に問題に取り組む生徒

まちづくり委員会産業 おこし部会 研修旅行

産業おこし部会（大平周一委員長）は、11月7日15名参加で、埼玉県ヤマキ醸造株式会社に研修旅行を行った。同社は水、原料等にこだわり有機の醤油、味噌、豆腐、甘酒等を製造しています。参加者は豆腐の手作り体験をし、自分で作った豆腐をおかずで昼食を楽しんだ。



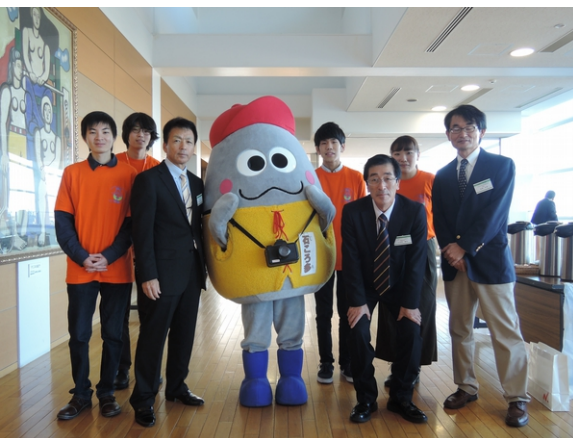
高原ヨネさん百歳の賀寿

板橋の高原ヨネさんが11月10日百歳の誕生日を迎え、自宅で賀寿の贈呈式がおこなわれた。

式には、県中保健福祉事務部長、石川町加納町長、矢内鷹嗣山橋地区長寿会連合会長、小木長吉板橋長寿会会長が出席し、それぞれ賀寿とお祝い金・記念品等が贈呈された。新聞や雑誌などを欠かさず読み、好き嫌いなくなんでも食べるのが長寿の秘訣と話していた。



孫嫁から花束を贈呈される



研究発表の合間に、石ころ多・事務局・教授・学生達

全国農村サミットに出席

山橋まちづくり委員会（添田勝美委員長）は、11月27日・28日に神奈川県藤沢市で開催された日本大学生物資源科学部主催の全国農村サミットに石ころ多とともに参加した。添田委員長、大平産業おこし部会長、小豆畑まちづくり事務局長、緑川委員、有賀事務長が参加した。1日目は、学生、教授と石ころ多グッズの商品化の評価と問題点について討議し、いろんな意見がが出されて今後の商品開発の参考となった。2日目は宮部教授のグループ「石川町におけるご当地キャラクター石ころ多による地域おこし」というテーマで小豆畑事務局長が事例発表を行った。また石ころ多の参加や、持参した地元産の食品の販売等を行い、大いに山橋地区のピーアールをしてきた。